

年次報告書

海外投資
に保証を

事業機会
を確実に

20
15



MIGA

多数国間投資保証機関
世界銀行グループ

MIGAの使命

途上国への対外直接投資の促進を通じて、経済発展、貧困削減、
人々の生活向上を図ることにあります。

年次報告書 2015

世界銀行グループ 2015年度の成果概要

世界銀行グループ総裁兼
理事会議長からのメッセージ

2015年度は世界の開発にとって極めて重要な年でした。国際社会がこの一年に下した決定の数々は、2030年までに極度の貧困を撲滅するという目標を達成できるか否かを長期的に左右する事になるでしょう。

今日、1日1.25ドル未満で生活している人は今なお10億人近くに上ります。これは驚くべき数です。しかしその一方で、この25年間に、極度の貧困状態にある人々の世界の総人口に占める割合が3分の2も低下した事は特筆すべき事実です。この間、多くの国々が、不可能と思われた課題に挑戦し成果を上げてきました。

2030年までに極度の貧困を撲滅する事は、困難ではありますが実現は十分可能です。世界銀行グループの主要機関である国際復興開発銀行（IBRD）、国際開発協会（IDA）、国際金融公社（IFC）、多国間投資保証機関（MIGA）は、過去数十年間にわたり、世界各地での貧困との闘いの経験を抽出し分析してきました。開発のために何が効果的で何がそうでなかったかを経験から学ぶ中で、いくつかの明らかな傾向が浮かび上がってきました。

「成長、投資、保証」という戦略は、大きな効果を生む事が実証されています。強力で持続可能かつ包摂的な経済成長を促進し、保健や教育の分野を中心に人に投資すると共に、極度の貧困に陥る人がないように社会的セーフティネットを構築し、自然災害や感染症の大流行に対する対応策を策定していかなければなりません。

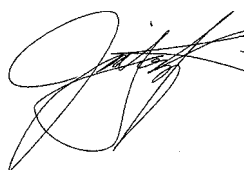
また、低・中所得国のニーズの変化に対応するため、世界銀行グループ自身も変わる必要があります。以前と比べ資金の調達には容易になっていますが、そうした中でこそ、世界銀行グループの最大の強みを強調していかなければなりません。それは、我々の膨大な知識を革新的資金調達と融合させる事により、最貧困層に最大限の効果をもたらすプログラムを提供できるという強みです。途上国自身がそれぞれの抱える困難な課

題を解決するため、世界各地の事例から実践的なノウハウを導き出せるよう支援する事、それが我々の目指すところです。

2015年度、世界銀行グループは加盟国の政府や民間企業に対して、総計600億ドル近い融資、贈与、直接投資、保証をコミットしました。この内、IBRDのコミットメントは、総額235億ドルに上りました。これは、最高水準だった世界金融危機当時を除けば、これまでの最高額となります。一方、世界銀行グループの最貧困層向け基金であるIDAは、増資対象期間の初年度としては過去最高の総額190億ドルをコミットしました。また、献身的な職員が信念を持って業務に携わったおかげで世界銀行グループのパフォーマンスは高まり、グループの開発に関する知識や専門性を世界と共有する事が、より容易に行われています。

今や世界の開発資金は、高所得国からだけでなく、中所得国や低所得国からの資金も加わり、数十億ドル規模から数兆ドル規模に拡大しようとしています。そうした中、新興市場や脆弱国に対する民間セクター投資を促すために、世界銀行グループが一丸となって取り組む事が極めて重要です。世界銀行グループで民間セクターを支援するIFCとMIGAの2機関も、こうした取組みを強化しています。2015年度、IFCが民間セクター開発のために提供した投融資総額は、他の投資家から動員した約71億ドルを含め約177億ドルに達しました。MIGAもまた、総額28億ドルに上る政治的リスク保証業務及び信用補完業務を提供し、必要性の高いインフラ分野のプロジェクトを含め、各種の投資を支援しました。

極度の貧困状態にある約10億人の人々は、より良い生活を手にするための平等な機会を必要としており、彼らに機会をもたらしてくれる政策やプログラムに期待しています。各国政府はこの機を捉え、民間セクターのパートナーは新たな投資を模索しなければなりません。この好機を逸する事のないよう、世界銀行グループ、他の国際開発金融機関、新たな開発パートナーが力を結集し、信念を持ちながら協調していく事が求められます。力を合わせる事により、包摂的で持続可能な成長、そして貧困層や脆弱層にとっての機会を促進する事ができます。我々が極度の貧困に終止符を打つ世代になる事は、実現可能なのです。



ジム・ヨン・キム博士
世界銀行グループ
総裁兼理事会議長



世界各地での活動

2015年度、世界銀行グループは引き続き、途上国に対して積極的な支援を提供する事ができました。これは、より迅速な成果の達成、援助受入国やパートナーとの関係強化、そしてグローバルなソリューションを用いた各地域の問題解決に力を注いだ結果です。



効果

世界銀行グループは、その強みや専門性、資金を駆使し、経済成長の促進、包摂性の推進、持続可能性の確保を進め、援助受入国やパートナーが大きな開発効果を達成できるよう支援しています。

経済成長の促進

IBRD/IDA

27,700km
の道路の建設または補修

4,900万
人及び中小・零細企業に
金融サービスを提供

IFC

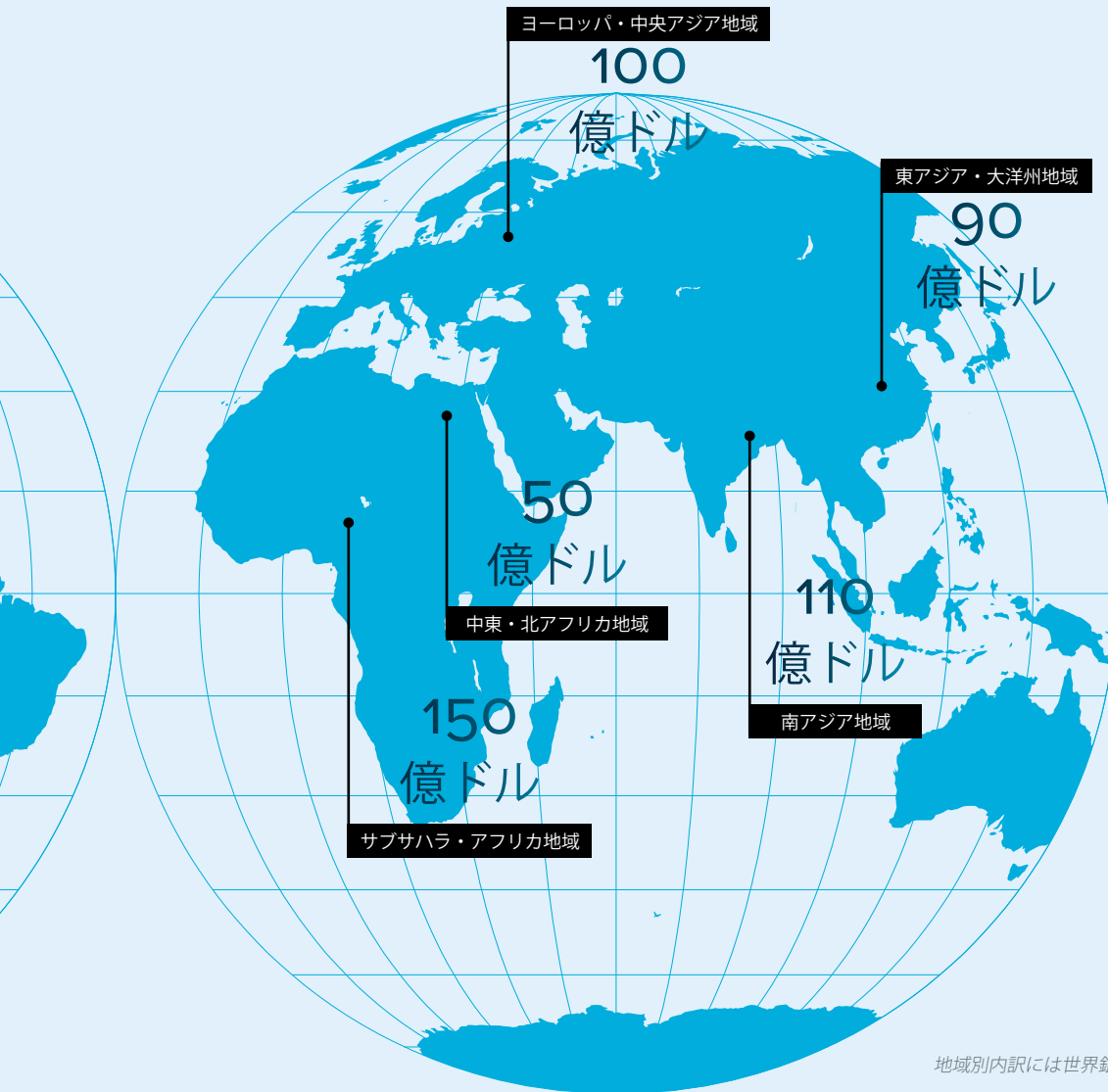
250万
件の雇用の提供

2億3,700万
人を電話に接続

MIGA

100,325
件の雇用創出

147億ドル
MIGAクライアントによる
147億ドルの新規融資



600 億ドル

加盟国の政府・民間企業に対する融資、贈与、直接投資、保証などの支援総額。

複数の地域にまたがるプロジェクトやグローバルなプロジェクトを含む。

地域別内訳には世界銀行の分類による。

包摂性の推進

IBRD/IDA

1億2,300万

人が保健、栄養、人口サービスを楽しむ

1,450万

人が社会的セーフティネット・プログラムの恩恵を受取る

MIGA

2,180万

人に電力アクセスを提供

1億4,200万

人が交通アクセスを確保

IFC

340万

戸の農家を支援

350万

人の学生への教育助成

持続可能性の確保

IBRD/IDA

4,100万

特別気候変動対策によりCO₂排出量換算で4,100万トンの削減

34

カ国で公共財政管理制度を強化

MIGA

400万

人に清潔な水へのアクセスを確保

30億ドル

MIGAが支援した案件で30億ドルの歳入が増加

IFC

970万

2015年度のIFC投資により970万トンの温室効果ガス削減見込

195億ドル

IFCが支援した案件で195億ドルの歳入が増加

世界銀行グループの各機関

世界銀行グループは、途上国に資金や知識を提供する世界有数の機関であり、貧困の撲滅、繁栄の共有の促進、持続可能な開発の推進という共通の目的を持つ5つの機関で構成されています。

国際復興開発銀行 (IBRD)

中所得国及び信用力のある低所得国の政府を対象に貸出を提供

国際開発協会 (IDA)

最貧国の政府を対象にクレジットと呼ばれる無利子の融資や贈与を提供

国際金融公社 (IFC)

途上国の民間セクター向け投資を促進するための融資、直接投資、アドバイザー・サービスを提供

多数国間投資保証機関 (MIGA)

新興国への対外直接投資 (FDI) を促進するために投資家や貸手に政治的リスク保険や信用補完を提供

投資紛争解決国際センター (ICSID)

国際投資紛争の調停と仲裁を行う場を提供

世界銀行グループによる支援

年度別単位：100万ドル

世界銀行グループ	2011	2012	2013	2014	2015
承認額 ¹	56,424	51,221	50,232	58,190	59,776
実行額 ²	42,028	42,390	40,570	44,398	44,582
IBRD					
承認額	26,737	20,582	15,249	18,604	23,528
実行額	21,879	19,777	16,030	18,761	19,012
IDA					
承認額	16,269	14,753	16,298	22,239	18,966
実行額	10,282	11,061	11,228	13,432	12,905
IFC					
承認額 ³	7,491	9,241	11,008	9,967	10,539
実行額	6,715	7,981	9,971	8,904	9,264
MIGA					
総引受額	2,099	2,657	2,781	3,155	2,828
援助受入国実施信託基金					
承認額	3,828	3,988	4,897	4,225	3,914
実行額	3,152	3,571	3,341	3,301	3,401

1. IBRD、IDA、IFC、全ての援助受入国実施信託基金 (RETF)、MIGAの引受総額を含むため、信託基金による活動の一部しか反映されない世界銀行グループのコーポレート・スコアカードの金額と異なる。

2. IBRD、IDA、IFC、RETFの支援実行額を含む。

3. IFC自己勘定の長期コミットメント。短期融資や他の投資家を通じて動員した資金を除く。

MIGAの概観

本田桂子MIGA長官兼CEOからのメッセージ



2015年は、国際社会が次世代の開発アジェンダを策定する中で、一つの節目を迎えたと言えます。その中でカギとなる要素は、極度の貧困撲滅と繁栄の共有促進という世界銀行グループの目標達成を支援するために、革新的な新規投資を誘致すべく、民間セクターと積極的に関わることが挙げられます。その実現においてMIGAは重要な役割を果たしています。MIGAの民間セクター・プロジェクト向け政治リスク保険やクレジットエンハンスメント

（信用補完）商品は、投資を最も必要としている国への投資促進で触媒的機能を担っているからです。

今年、MIGAは前年に続き力強い実績を上げました。合計40件のプロジェクトに対し総額28億ドルの新規保証を行って、投資家支援とリスク緩和に貢献したのです。世界の最貧国向け投資保証はプロジェクトの半数近くに上るほか、脆弱・紛争国でのプロジェクトは全体の15%に達しました。これらの国々はMIGAの最優先分野となっています。

MIGAは、クライアントのニーズにカスタマイズできるよう、その商品の新たな利用法を編み出す一方、特定の構造に見合った保証が可能になるよ

う、革新性と適応性を発揮し続けています。2015年度、トルコとコロンビアでは、サブ・ソブリン主体（地方自治体）や国有企業向けの民間セクター融資を後押ししました。ブラジルでは、ブレンド型金融の新モデルを導入して、世界銀行グループとの連携強化がもたらした利点を示しました。またエルサルバドルでは、年金ファンド・セクターを支援するため初の保証を提供したほか、ニカラグアでも、ごく初段階にあるプロジェクトのトレードマーク・ライセンス契約に保険を提供しました。

同時に、ホンジュラスとヨルダンでは、気候変動の影響緩和に向けた太陽光発電を支援するなど、重点分野においても従来の保証業務を展開しました。加えて、経済混乱が続き困難な状況に直面している東欧の多数の国では、大手銀行の子会社を対象とした保証を提供しました。

本年度は、コーポレート・リスク担当局長としてサンティアゴ・アッサリニ氏を迎えました。また、7月1日付で、副総裁兼最高業務責任者（COO）としてカリン・フィンケルストーン氏がMIGAに加わりました。経済発展、貧困削減、そして人々の生活向上に資するというMIGAの使命を引き続き担うにあたり、チーム全員と協力して業務に邁進していく所存です。

本田桂子

MIGAの運営チーム



SANTIAGO G. ASSALINI
コーポレート・リスク担当局長

EDITH P. QUINTRELL
業務担当局長

KEIKO HONDA
MIGA長官兼CEO

ANA-MITA BETANCOURT
局長兼法務・支払請求担当顧問

RAVI VISH
経済・持続可能性担当局長

MIGAの

ビジネスと業務の 概観

概要

2015年度、加盟途上国での40件のプロジェクトに対してMIGAが発行した投資保証は総額28億ドルに達しました。加えて、MIGAが管理する信託基金の下で、320万ドルの投資保証が発行されました。プロジェクトの包括範囲は、全地域・全セクターを網羅しており、MIGAの重点分野のうち、少なくとも一つの分野に取り組んでいるものは新規保証総額の60%を占めました。本年度末のMIGAの総保証残高は125億ドルでした。そのうち、MIGAの再保険パートナーに受け渡したものは48億ドルでした。また、ブータンがMIGAの181番目の加盟国となりました。

新規保証額の重点分野別内訳*

割合 (%)

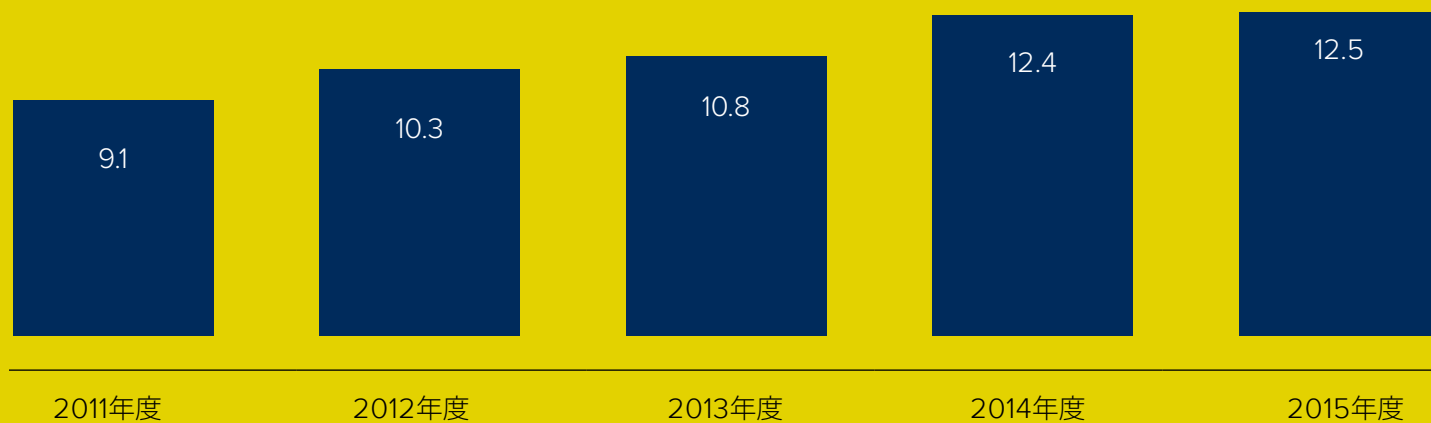
MIGAは最貧国や高リスクの国などの戦略的優先分野で最も活発に活動を展開しており、革新的プロジェクトを支援したり、公的保険機関や民間保険会社と協力したりして、企業や政府のために多額の追加資金を動員しています。

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
IDA融資適格国	55%	48%	70%	29%	43%
脆弱・紛争国	24%	18%	23%	50%	15%
革新的プロジェクト	-	-	-	-	15%

*複数の重点分野にまたがるプロジェクトもある。2015年度より「革新的プロジェクト」を追加。

総保証残高

10億ドル



支援受入国上位10か国*

国名	割合
トルコ	9.0%
セルビア	6.8%
コートジボワール	6.6%
ロシア連邦	5.7%
ベトナム	5.3%
パナマ	4.7%
クロアチア	4.2%
アンゴラ	3.9%
ハンガリー	3.7%
ウクライナ	3.5%
合計	53.4%

投資国上位10か国*

国名	割合
フランス	17.2%
オーストリア	13.0%
米国	11.4%
ドイツ	8.5%
英国	6.1%
日本	5.0%
南アフリカ	4.6%
ギリシャ	4.0%
スペイン	3.7%
アイルランド	3.7%
合計	77.2%

*2015年6月30日現在の総保証残高125億ドル

アンゴラで戦争によって生じた 金属スクラップを鉄筋に変身

アンゴラでは、戦争で発生した廃品などの金属スクラップから建設業界向けの鉄筋を生産するグリーンフィールド型工場の建設と操業に7,000万ドルの保証を提供しています。このプロジェクトは、同国初の石油セクター以外の大規模な産業プロジェクトの一つに数えられます。金属スクラップは、長期にわたる内戦の名残りとして、アンゴラ全土に広がっています。こうして集められたスクラップは、工場でのビレット製造用の原料となるだけでなく、環境保全と多数の雇用創出にも貢献します。

ブラジルのインフラ不足解消に向けた ソリューションの提供で世界銀行と協力

ブラジルのサンパウロ州では、輸送システムの信頼性、安全性、そして自然災害に対する強靭性を向上する画期的プロジェクトに3億6,080万ドルの保証を行っています。この「サンパウロ持続可能な輸送」プロジェクトは、公的資金と世界銀行グループによる民間金融手段を組み合わせたもので、世界銀行と民間貸付機関のブラジル向け貸出限度枠に対応しつつ、同国の投資ニーズへのソリューションを提供するために同国政府と緊密な連携を図っています。

コンゴ民主共和国の通信業界への支援

コンゴ民主共和国では、携帯電話の基地局網のさらなる拡大を支援するために3,020万ドルの保証を提供しています。基地局の増設に伴い、携帯電話の既存および将来の事業者やインターネットサービスプロバイダは、自社のサービス地域や配信能力の拡大が可能になります。このプロジェクトはまた、近代化かつ全国的なインフラ構築、通信・新技術へのアクセス改善といった同国の開発目標も支援することになります。

安価でクリーンな電力供給をインドネシアで支援

インドネシアでは、発電容量47メガワットの流れ込み式水力発電所の開発と操業、ならびに送電線の建設の支援として2億ドルの保証を行っています。この新規ファシリティは、インドネシアの国営電力公社に、より経済的でクリーンな電力を供給することで、高価な石油燃料への依存度を減らすのに役立つでしょう。MIGAの保証は、電力セクター向け民間投資をさらに誘致する際のデモンストレーション効果も期待できます。

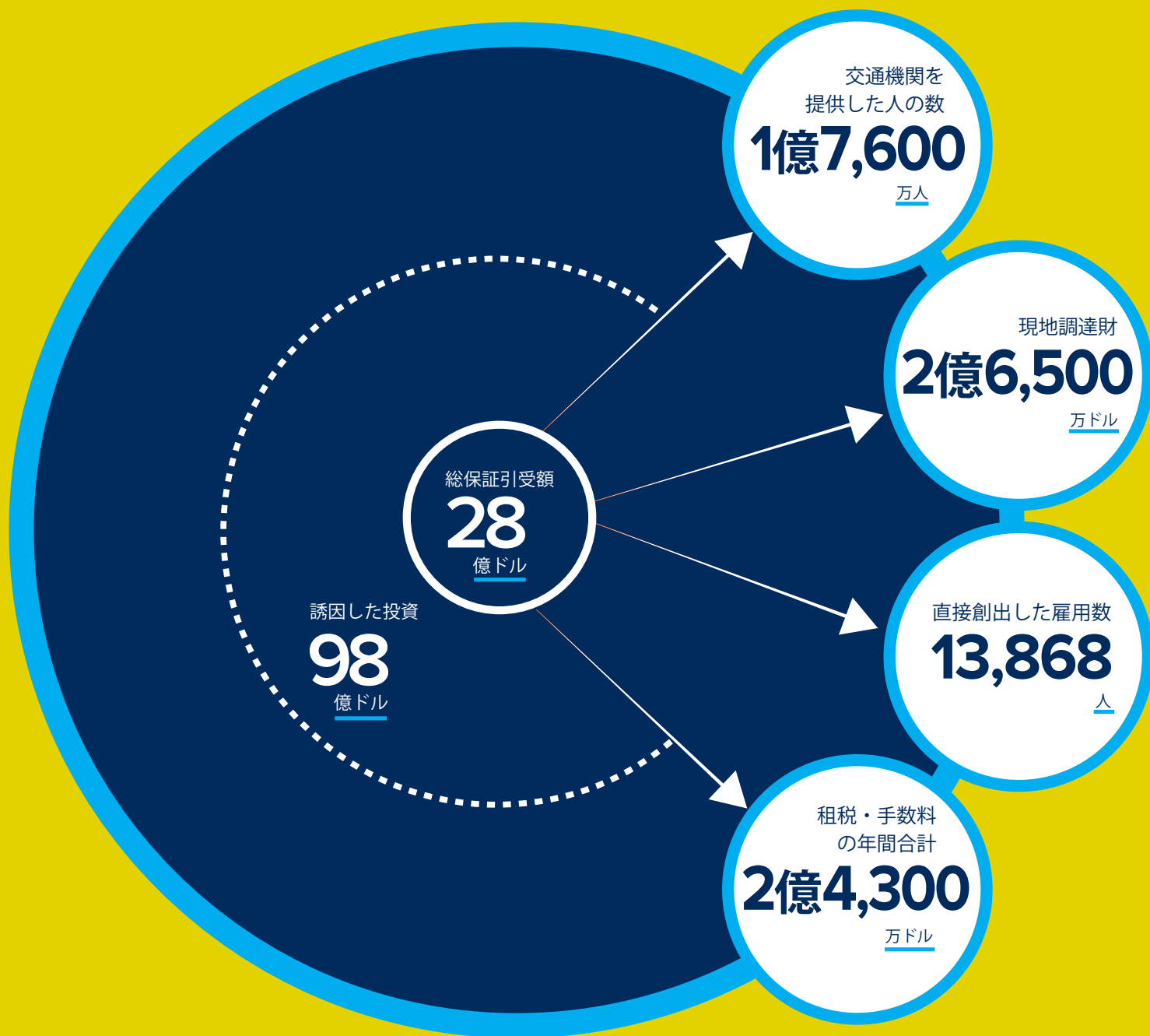
エジプトでの投資保証を通じて 他の開発パートナーと協力

エジプトでは、地元で入手可能な製油所の常圧蒸留残油を、国内市場向けディーゼル油やジェット燃料などの軽油製品にアップグレードする精油プロジェクトを支援するために2,340万ドルの保証を提供しています。このプロジェクトは、消費者と業界の需要に応じて、低硫黄の精油製品の国内生産を最適化しようとするものです。MIGAの支援は、同国に対する投資家の信認を高めるのに貢献するでしょう。同プロジェクトはまた、国際金融公社（IFC）、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行など、多数の開発金融機関の支援も受けています。

トルコにおける公共保健サービスの拡大を支援

トルコでは、南部の都市アダナにおける総合ヘルスキャンパスと中部都市ヨズガットでの新病院の建設を支援するため合計2億920万ドルの保証を提供しています。これらのプロジェクトは共に、公共医療サービスの向上を目的に、トルコ保健省が全国的に進めている官民パートナーシップ（PPP）の一部となっています。アダナのヘルスキャンパスはIFCの支援も受けています。双方のプロジェクトは、周辺地域における多大なヘルスケア・ニーズにも対応できるでしょう。

開発成果



MIGAの使命は、 経済発展、貧困削減、 人々の生活向上 を支援することです。

これを実現するためには、MIGAは、支援を行っているプロジェクトの開発結果を明確に把握していなければなりません。MIGAの「開発効果指標システム（DEIS）」は、全てのプロジェクトの結果を示すために、誘因した投資の金額、直接創出した雇用数、納税額、現地調達財の金額など、一連の共通する指標のデータを顧客から収集するものです。これに加え、セクター別指標も測定しています。2015年度のMIGAの28億ドルに上る保証により、官民両方から98億ドルの協調融資を追加的に誘引できる見通しです。以下は、MIGAの保証（2015年度契約分）を受けたプロジェクトの開発成果の概要です。

ガバナンス

MIGAの総務会および理事会

加盟国181カ国を代表する総務会および理事会がMIGAのプログラムや活動を指導しています。各加盟国はそれぞれ総務1名と総務代理1名を任命します。MIGAの権能は総務会に委ねられ、さらに総務会はその権能のほとんどを25名で構成される理事会に託しています。議決権数は、各理事が代表する国の出資比率に応じて加重されます。理事はワシントンDCにある世界銀行グループ本部で定期的に会合を開き、投資プロジェクトの審査と決定、ならびに全般的な運営方針の監督に当たります。

詳細については、ウェブサイト（worldbank.org/en/about/leadership/governors）をご覧ください。

説明責任

独立評価グループ

独立評価グループ（IEG）は、MIGAの開発成果の向上を目的に、MIGAの戦略、方針、プロジェクトを評価しています。IEGはMIGAの運営チームから独立しており、MIGAの理事会と開発効果委員会に評価結果を直接報告します。

IEGの報告書や勧告はウェブサイト上（ieg.worldbankgroup.org）で一般に公開されています。

コンプライアンス・アドバイザー／オンブズマン

コンプライアンス・アドバイザー・オンブズマン（CAO）室は、MIGAとIFC（国際金融公社）の説明責任を追及する独立したメカニズムで、世界銀行グループ総裁の直下に置かれています。CAOは、MIGAとIFCが支援するビジネス活動の影響を受けた人々の苦情に対処します。その目標は、現地で環境・社会面の結果を高め、両機関の一般に対する説明責任を強化することにあります。

詳細については、ウェブサイト（cao-ombudsman.org）をご覧ください。

財務要約

百万ドル	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
収益					
純受取保険料	50.8	61.7	66.3	72.5	79.0
投資収益	13.9	36.9	33.6	53.4	24.1
一般管理費 ¹	41.1	43.9	47.1	45.6	44.9
営業利益 ²	9.7	17.8	19.2	26.9	34.1
純受取保険料に対する 一般管理費の比率	81%	71%	71%	63%	57%

¹一般管理費には、年金および他の定年退職後の給付プランの費用が含まれる。

²営業利益は純受取保険料から一般管理費を減じたもの。

純受取保険料

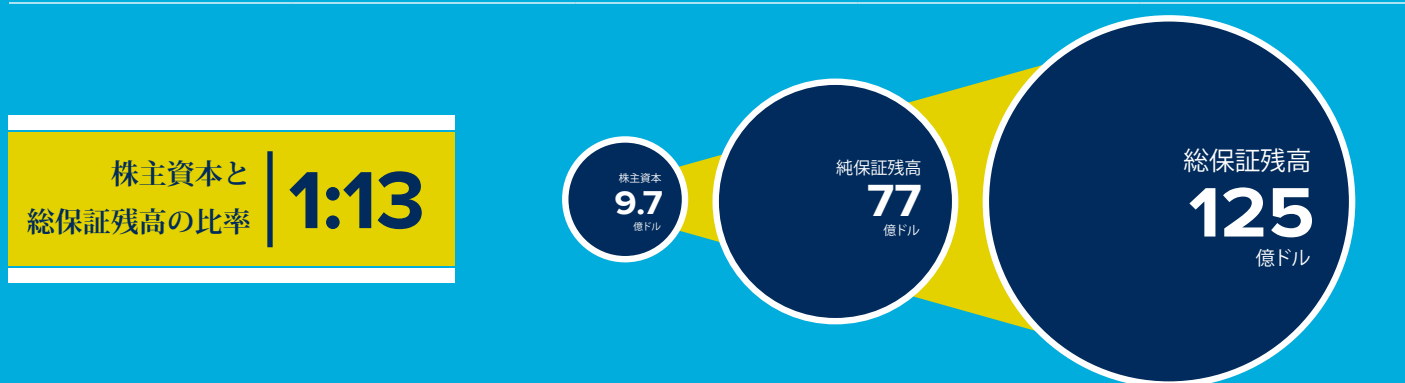
百万ドル



百万ドル	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
経済資本 (EC) 合計*	414	508	572	620	705
株主資本	924	905	911	974	971
運転資本	1,099	1,125	1,178	1,262	1,312
総保証残高	9,122	10,346	10,758	12,409	12,538
運転資本に対する経済資本合計の比率	38%	45%	49%	49%	54%
総保証残高/運転資本の比率	8.3	9.2	9.1	9.8	9.6

*経済資本合計は、保証ポートフォリオの資本減価に、オペレーショナル・リスクと投資リスクへの対応に要する資本を加算したもの。

株主資本と総保証残高の比率



連絡先

上級幹部

本田桂子 長官兼最高経営責任者 (CEO)	khonda@worldbank.org
Karin M. Finkelston 副総裁兼最高業務責任者(COO)	kfinkelston@worldbank.org
Santiago G. Assalini コーポレート・リスク担当局長	sassalini@worldbank.org
Ana-Mita Betancourt 局長兼法務担当顧問	abetancourt@worldbank.org
Edith P. Quintrell 業務担当局長	equintrell@worldbank.org
Ravi Vish 経済・持続可能性担当局長	rvish@worldbank.org

地域拠点

アジア・大洋州 — Timothy Histed シンガポール事務所責任者	thisted@worldbank.org
ヨーロッパ — Elena Palei ヨーロッパ・ハブ責任者	epalei@worldbank.org

保険引受部門

Carlo Bongiacchi インフラ (通信・輸送・水)	cbongianni@worldbank.org
Muhamet Fall (代理) エネルギー・資源採掘産業	mfall3@worldbank.org
Nabil Fawaz アグリビジネス・一般サービス	nfawaz@worldbank.org
Olga Sclovsciaia 金融・資本市場	osclovsciaia@worldbank.org

再保険部門

Marc Roex	mroex@worldbank.org
-----------	---------------------

ビジネスに関するお問合せ

migainquiry@worldbank.org

20
15



多数国間投資保証機関

世界銀行グループ

1818 H Street, NW

Washington, DC 20433 USA

miga.org
